

R5 表現問題

表現問題は CD から流れる文章を表現するものが 2 題

①テーマ:「プレゼントは家電で」

【通訳場面の説明】

成人した子供たちに、自分の誕生日プレゼントをリクエストしてみたお母さんの話です。

私の友人は、誕生日プレゼントに電化製品をもらっているらしい。
彼女はお子さんが 4 人いて、「テレビが古くなったから、今年はテレビをプレゼントしよう」などと 4 人で相談して買ってくれるという。
いいなあ。うちの娘 3 人が花や紅茶をくれるのはもちろん嬉しい。
でも毎年新しい電化製品がもらえるのは、うらやましいと思っていた。
そんな時、うちの掃除機が壊れた。
そうだ！今年は子供たちにリクエストしてみよう。
娘たちに「今年のお母さんの誕生日プレゼントは掃除機にしてくれる？」と聞いてみると、私の誕生日当日の 11 月 28 日にプレゼントが届いた。
箱から出したピカピカの新しい掃除機の写真を撮り、「今までで一番嬉しいプレゼントだった。ありがとう！」と、掃除機の写真付きで娘たちにメールで送ったら、「そんなに嬉しいの？」と驚かれた。
「来年は何にしようかな？」と考えていたら、夫から冷ややかに「もうやめなさいね」と言われた。でもすごく嬉しいものですよ。

(朝日新聞投稿欄より「プレゼントは家電で」をリライト)

②テーマ:「新生児聴覚スクリーニングの現状について」

通訳場面の説明:

聞こえないお子さんをお持ちの保護者に向けた講演会です。参加者は20人の中にろう者も数名います。

新生児の聴覚スクリーニング検査は、生まれて間もない赤ちゃんにする耳の聞こえの検査です。今、全国的に普及しつつあります。聴覚障害児は新生児の1000人に1人の割合で生まれると言われています。日本では1年間の出生数はおよそ100万人です。

1000人に1人ということは、毎年およそ1000人程度の聴覚障害児が生まれていることになります。これは先天的疾病としては頻度が高いとされています。

早期発見・早期支援が重要ということから欧米でこの検査が始まり、我が国では2001年からいくつかの自治体で先行的に実施し、成果があることが確認され、全国に広がっていきました。

検査は原則自己負担ですが、自治体によっては助成をしています。現在では新生児の8割以上が検査を受けています。

出典:「聞こえなくても大丈夫!人工内耳も手話も」第1章p41」(ココ出版)の抜粋